

# 岡山市環境白書

令和元年版



平成30年度 地球環境問題ポスターコンクール 市長賞（中学生の部）  
岡山市立操山中学校 2年 海野虹々さん

岡山市

平成30年度地球環境問題ポスターコンクール受賞作品

小学生の部



市長賞 坪下 凜音さん



市議会  
議長賞

木崎 美伶さん



教育長賞

近藤 勇輝さん



岡山ESD  
推進協議  
会長賞

斬 子玄さん



岡山県  
環境保全事業団  
理事長賞

屋敷 和奏さん

## 中学生の部



市長賞 海野 虹々さん



市議会  
議長賞 小板 朋夏さん



教育長賞

清水 友貴さん



岡山県  
環境保全事業団  
理事長賞

斉藤 優奈さん



岡山ESD  
推進協議  
会長賞

岡 宏篤さん

### ご応募ありがとうございます。

平成30年度は、小学校12校、中学校10校から213点のご応募をいただき、小・中学生の部各5賞の他85作品が、特選及び入賞に選出されました。

入賞作品は平成31年3月13日から3月31日まで岡山市立中央図書館2階展示コーナーに展示し、海野 虹々さんの作品を令和元年版岡山市環境白書の表紙に採用させていただきました。また、平成30年度の市長賞等4賞8作品は、ごみ収集車に掲示し啓発活動を推進しました。

(詳しくは、本文98ページをご参照ください)



# はじめに

岡山市は、中四国地方第2位となる人口71万人を擁する政令指定都市であり、行政、経済、文化等の都市機能が高度に集積したまちであるとともに、瀬戸内特有の温暖な気候に恵まれた「晴れの国」として、また、自然災害の少ない安全・安心な都市として、全国的に認知されています。

また、面積790km<sup>2</sup>と広大な市域には、吉備高原に連なる北部の丘陵地から瀬戸内海に面した平野部まで、変化に富んだ地形や希少野生生物等が生息・生育する生物多様性に富んだ自然環境が存在し、豊かな水と緑を享受しながら四季折々の暮らしが営まれています。

こうした中、近年の環境問題は複雑かつ多様化してきており、地球温暖化対策や生物多様性の保全、大気汚染・水質汚濁への対応、廃棄物への対策など、幅広い視点から環境保全を推進することが求められています。

とりわけ地球温暖化による気候変動は、国・地域を越えて世界中で取り組まなければならない喫緊の課題であり、2019年12月に開催された国連気候変動枠組条約第25回締約国会議(COP25)では、2020年から実施される「パリ協定」の具体的な運用についての議論など、日本を含む各国が脱炭素化社会の実現に向けて取り組んでいるところです。

岡山市では、岡山市環境保全条例に基づき、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、平成29年3月に「岡山市環境基本計画」及び「岡山市地球温暖化対策実行計画」を改訂いたしました。今後とも、行政の立場とともに、一事業者あるいは一消費者としての責務を有していることを認識し、地域活動に最も密着した自治体として、地域全体に環境保全行動を広げる先導役となるべく、率先して自らの事務及び事業から発生する環境負荷の低減に向けて取り組んでまいります。

また、ここ岡山は、平成17年に国連大学から世界初となる「ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) の地域拠点」に認定され、平成26年秋に「ESDに関するユネスコ世界会議」の関連会合を開催するとともに、平成28年度には「ユネスコ/日本ESD賞」を受賞、さらに平成30年、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の達成に向けた優れた取組が期待され、「SDGs未来都市」の一つに選定されました。

今後とも、多様な主体と協働して、自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継いでいけるよう取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本白書は、岡山市環境保全条例に基づき、平成30年度時点の環境の状況並びに岡山市環境基本計画に基づき実施された施策の実施状況等について、報告書としてまとめたものです。環境問題に対する皆様方の理解と関心を深めていただくための一助となれば幸いに存じます。

令和3年3月

岡山市長 大森雅夫



# 目次

## 総論

I 環境の概況	2
1 自然的条件	2
(1) 地勢	2
(2) 気候	3
2 社会的条件	3
(1) 人口	3
(2) 土地利用	4
(3) 産業	4
3 環境問題の推移	5
(1) 公害問題の発生	5
(2) 環境問題の多様化	5
(3) 新たな行政手法の確立へ	5
(4) 今日の環境問題と課題	6
II 総合的な環境保全施策の推進	8
1 環境保全のための組織	8
(1) 環境の保全に関する審議会	8
(2) 庁内調整組織	10
2 環境保全対策	10
(1) 岡山市環境保全条例	10
(2) 第2次岡山市環境基本計画・ 地球温暖化対策実行計画	12
(3) 岡山・倉敷地域公害防止計画	14
(4) 環境保全協定（旧公害防止協定）	14
(5) 自然保護協定	14
(6) 開発行為の指導	14
(7) 岡山市中小企業公害防止施設改善資金 保証融資制度	18
【トピックス】	18

## 各論

I 大気環境	20
1 大気汚染の現況	20
2 大気汚染防止対策	24
(1) 工場・事業場の規制	24
(2) 大気汚染緊急時対策	24
(3) 注意喚起情報	24
3 悪臭の現況と防止対策	25
(1) 悪臭の現況	25
(2) 悪臭防止対策	25
4 その他の大気環境問題	26
(1) 有害大気汚染物質	26
(2) 酸性雨	27
(3) アスベスト対策	27
II 水環境	29
1 水質汚濁の現況	29
2 水質保全	31
(1) 規制の枠組み	31
(2) 特定事業場等の立入調査・指導	32
(3) 兄島湖の環境保全対策	33
(4) 生活排水対策	33
(5) 瀬戸内海の環境保全対策	33
(6) 水浴場水質調査	34
(7) おまちアクアガーデン湧水の水質検査	34

(8) 水質事故への対策	34
3 公共下水道の整備	34
(1) 下水道整備の促進	34
(2) 下水の高度処理の推進	34
(3) 下水道汚泥の資源化への取組	36
4 合併処理浄化槽設置整備事業	37
(1) 小型合併処理浄化槽の特長	37
(2) 合併処理浄化槽設置整備事業に対する 補助金交付制度	38
(3) 合併処理浄化槽の維持管理	38
(4) 現状と対策	38
5 農業集落排水事業	39
III 土壌汚染対策	39
(1) 背景	39
(2) 土壌汚染対策法	39
(3) 工場・事業場への指導	39
(4) 岡山県環境への負荷の低減に関する条例	39
(5) 過去の土壌汚染事例	39
(6) リスク管理の推進	39
IV 化学物質対策	42
1 ダイオキシシン類	42
(1) ダイオキシシン類対策	42
(2) 現況	42
(3) 今後の対応	43
2 外因性内分泌かく乱化学物質及び残留性有機汚染物質	44
(1) 対策	44
(2) 現況	44
3 ゴルフ場排水	45
(1) 対策	45
(2) 現況	45
4 PRTR制度に基づく特定化学物質対策	45
V 騒音・振動	47
1 騒音・振動の現況	47
2 騒音・振動防止対策	48
(1) 工場・事業場に対する規制	48
(2) 建設作業に対する規制	48
(3) 生活騒音対策	48
VI 交通公害	49
1 交通公害の現況	49
(1) 自動車排出ガスの現況	49
(2) 自動車騒音・道路交通振動	50
(3) 新幹線鉄道騒音・振動	51
2 交通公害防止対策	51
(1) 自動車排出ガス	51
(2) 低公害車の導入	51
(3) 公共交通等の利用促進	52
(4) ノーマイカーデー運動	52
(5) 普及啓発	52
(6) 新幹線鉄道騒音・振動	52
VII 公害苦情	53
1 公害苦情の現況	53
(1) 苦情件数の経年推移	53
(2) 月別苦情件数	53
(3) 用途地域別苦情件数	54
(4) 発生源別苦情件数	54

2 公害苦情への取組	55	(1) 環境家計簿モニター活動	92
<b>VIII 廃棄物・リサイクル</b>	56	(2) 岡山市環境パートナーシップ事業	92
1 一般廃棄物	56	(3) 「岡山市もったいない運動」の実施について	93
(1) 一般廃棄物とは	56	2 環境教育・学習の推進	94
(2) 岡山市のごみ処理の現状（平成30年度実績）	57	(1) 環境学習の機会	94
(3) ごみの減量化・リサイクルの取組	58	(2) 学校教育における環境教育	94
(4) 家庭ごみ有料化及び関連施策の実施について	59	(3) 次世代育成における環境教育	95
(5) バイオ燃料地域利用事業について	61	(4) ポスターコンクール	98
(6) 不法投棄、環境美化等への取組	61	3 自主的な活動への支援	98
(7) 施設整備の概況	62	(1) 「岡山市身近な生きものの里」事業	98
(8) し尿処理の状況	63	(2) 「こどもエコクラブ活動」の支援	98
(9) 災害時のし尿収集について	64	4 情報の提供	99
2 産業廃棄物	66	(1) 普及啓発冊子	99
(1) 産業廃棄物処理の状況	66	(2) 各種メディアを通じた広報活動	99
(2) 監視・指導	67	5 岡山ESDプロジェクト	100
<b>IX 自然環境</b>	68	(1) 目的	100
1 自然の概況（野生生物の生息・生育状況）	68	(2) 地域	100
(1) 植物	68	(3) 対象	100
(2) 淡水魚	68	(4) 事業期間	100
(3) 野鳥	69	(5) プロジェクトの内容	100
(4) 昆虫	69	<b>XIII 施策の実施状況</b>	103
(5) その他（ほ乳類等）	70	1 平成30年度に実施した施策・事業の概要	103
(6) 外来生物	70	(1) 「市民協働による環境づくりと快適な都市環境が 実現しているまち」の実現のために	103
2 自然の保護	70	(2) 「豊かな自然環境の保全と共生が 実現しているまち」の実現のために	104
(1) 生物多様性保全のための取組	70	(3) 「賢い選択による低炭素化と地球にやさしい活動が 実現しているまち」の実現のために	104
(2) 貴重な野生生物の保護	71	(4) 「安全な生活環境と循環型社会が 実現しているまち」の実現のために	105
(3) 岡山県自然保護条例に基づく規制、指導	72	2 第2次岡山市環境基本計画における成果指標一覧	106
(4) 自然公園等の保護と利用	75	<b>XIV 岡山市役所の環境保全行動計画</b>	110
(5) 自然環境調査の実施	76	1 計画の概要	110
(6) 野生鳥獣の保護及び野生鳥獣による被害対策	76	(1) 計画期間	110
【トピックス】	78	(2) 計画の対象範囲	110
<b>X 快適環境</b>	80	(3) 対象とする温室効果ガス	110
1 緑の保全	80	(4) 基本方針	110
(1) 緑の現況	80	(5) 削減目標	111
(2) 緑の保全	80	(6) 計画の実施・運用について	111
2 都市景観の保全	81	2 計画の実施状況	113
(1) 都市景観の現況	81	(1) 平成30年度の実施状況（前年度（平成29年度）比）	113
(2) 都市景観の保全対策	81	(2) 各課等の具体的な取組状況	117
(3) 景観形成の取組について	82	(3) 「岡山市もったいない運動」の取組状況	119
3 歴史的・文化環境の保全	83	(4) 組織や項目別の主な取組	119
(1) 歴史的・文化環境の概観	83		
(2) 歴史的・文化環境の保全対策	83		
<b>XI 地球温暖化対策</b>	87		
1 地球温暖化の現況	87		
2 地球温暖化対策	88		
(1) 市民共同発電事業	88		
(2) CO <sub>2</sub> 削減／ライトダウンキャンペーン	89		
(3) 岡山ふれあいセンターESCO事業について	89		
(4) 電気自動車の導入	89		
(5) 再生可能エネルギーの普及	90		
(6) 岡山市市有施設への再生可能エネルギーの普及促進	90		
(7) スマートエネルギー導入促進補助事業について	90		
(8) エコドライブ講習会について	91		
<b>XII すべての人の参加による環境づくり</b>	92		
1 環境負荷の少ないくらしのスタイルづくり	92		

## 資料編

1. 環境基準等一覧表	132
2. 環境保全行政組織・機構（平成31年4月1日現在）	137
3. 環境保全年表	139
4. 用語解説	146
5. 岡山市環境保全条例	151